

ドローン前提社会を担う 高度人材育成・産業振興基盤の構築

「ドローン人材の育成」を強化しながら、これまでのカリキュラムに囚われない、来る未来社会のあるべき姿をビジョンに掲げ、2025年の普及期への移行を鑑み、5か年でドローン前提社会の担い手となる高度なドローン人材の育成とそれに伴う産業振興支援の拠点構築を進める。

事業のポイント
ドローン前提社会の高度な担い手を育成する拠点構築を目指す。操縦技能を中心としたカリキュラムから、事前計画と遠隔監視による自動・自律航行による運用を想定した新たなカリキュラムへの転換を進めると共に、市内の設備と制度を整備し、地元人材が主体的に運用する新たな「シン・たむらモデル」を展開する。

人材育成目標
これまでの操縦技能を中心とした育成カリキュラムから、事前計画と遠隔監視による自動航行・自律航行を想定した新たな人材育成カリキュラムへの展開による、高度ドローン人材の育成

- 2021年度の活動内容**
- 高度なドローン人材の育成拠点形成に向けたグランドデザイン
 - 事前計画と遠隔監視による運用に必要な人材に求められる技能・能力・知識の明確化
 - オンライン教育とフィールドにおける実践教育を併用したカリキュラム構成
 - 機体および制御ソフトウェア、ミッションプラン、離着陸場、飛行経路などの環境面については、多くの選択肢を提供できるよう重点的に整備
 - 操縦ライセンス制度などに向け、その実施施設としての運用



取り組みによって得られる成果
高度なドローン人材育成拠点として、全国へ人材育成の取り組みを展開

今年度の活動内容／課題 2年目以降の取組の方向性

- ✓ 船引高校でのドローン実習
- ✓ 田村市船引永谷地区における獣害（ツキノワグマ）対策



- 船引高校の高校生と連携したドローン農業・物流システムの環境構築
- 地元の企業とのマッチングにおける人材スキルの即戦力の教育方法
- 獣害対策については、サーマルカメラを用いた現場検証等踏まえた熊の防除対策の検討が必要

人材育成・農業・熊対策・物流を柱に展開必要となる社会基盤の整備

